

お買い上げいただきありがとうございます。

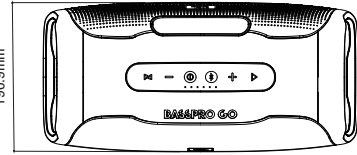
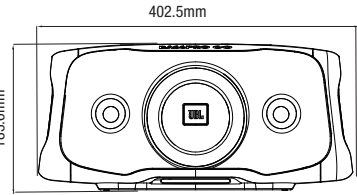
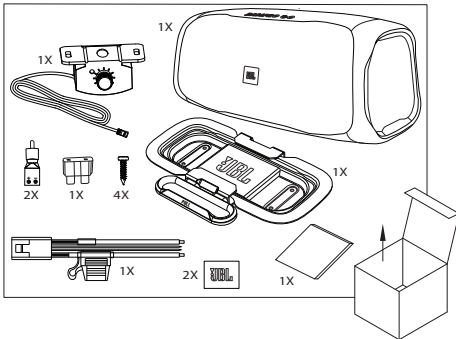
お持ちの製品は、JBLに期待されるパフォーマンスと簡単な操作を実現するように設計されています。BassPro Goの操作または設置の前に、時間を割いてこの取扱説明書をお読みください。この取扱説明書では、一般的な設置基準と操作手順を説明しています。モバイルオーディオコンポーネントの適切な設置には、適格な機械的および電気的手順の経験が必要なおことにご注意ください。設置するための知識や道具をお持ちでない場合は、JBL認定販売店に設置オプションについて相談されることを強くお勧めいたします。

I. 製品の説明

JBL BassPro Goはどんな車両でも簡単に設置と充電ができるように設計されたパワードサブウーファーです。本機は車両内でサブウーファーまたはフルレンジスピーカーとして作動し、素早く接続解除できる機能を持ち、Bluetooth対応ポータブルスピーカーにもなります。使いやすい操作性と車両の外で使用する場合にスピーカーを保護する便利な安全カバーを特長とし、IPx6保護等級を実現しています。

II. 同梱品

ポータブルスピーカーx1	リモートバスコントロールx1	取り付け金具x1
車両取り付けドックx1	高レベル入力アダプターx2	JBLステッカーx2
インラインヒューズ付きワイヤーハーネスx1	スペアヒューズx1	取扱説明書x1



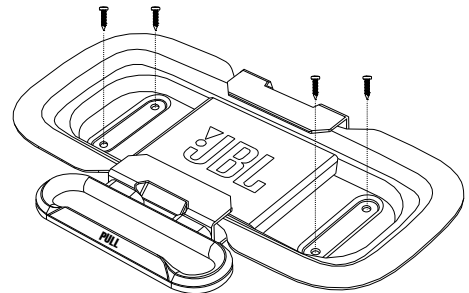
III. 設置と配線

重要：設置を開始する前に、車両のマイナス (-) 極のバッテリー端子の接続を切ります。

- 工具を使用する際は、保護用の眼鏡類をかけてください。
- 安全な取り付け位置を選択します。取り付け位置の両側に隙間があることをチェックしてください。ネジがブレーキ、燃料系路、または電気配線を傷つけないこと、また、配線が、車両の運転の妨げにならないことを確認してください。穴を開ける、またはカットする際には注意してください。
- 電気接続を行なう場合、それが安全できちんと絶縁されていることを確認してください。
- ドックを型板として利用し、取り付け面の取り付け用穴の位置に印を付けてください。
- 取り付け面にパイロット穴（案内孔）をあけてください。
- ドックを、付属の板金ネジとワッシャーで取り付け面に取り付けてください。

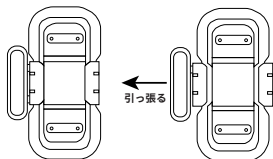
A. 車両にドックを取り付ける

付属の板金ネジを使用して車両の取り付け面にドックを固定してください。ドックを固定する前に、付属のケーブルがお好みの取り付け位置に十分届く長さであることを確かめください。



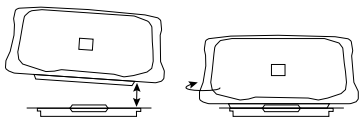
B. ドックにスピーカーを取り付ける

1. ハンドルを外に引き出してください。



2. スピーカーを固定するため、わずかに角度を付けてドック上にスピーカーの一方の隅を載せます。

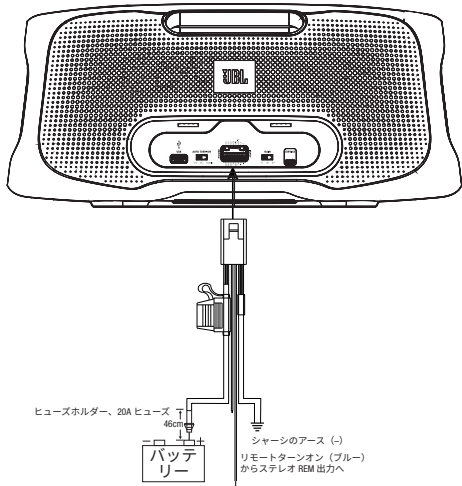
3. 完全にドック内の定位置に来るまでスピーカーを回転させます。



4. ハンドルを離して、定位置への固定を完了します。

注: ドックにスピーカーを取り付ける前にワイヤーハーネスを接続するのが最も簡単です。

C. 車両の電源とアース接続



i. **電源:** 車両のバッテリーの陽電極端子にレッドの+12V電源ケーブルを接続してください。バッテリーから457mm以内に20Aヒューズとヒューズホルダーを設置します。

ii. **アース:** シートベルトボルトのような、車両シャーシのペアメタルのワイヤーハーネスにブラックのGNDケーブルを接続してください。

注: できるだけ接触しやすく、シャーシから塗装をすべてはがしてください。確実に接続するには、リングコネクタの下の星型ワッシャーを使用することを推奨します。

iii. **リモート入力:** 低レベル信号入力を使用する場合、ワイヤーハーネスのブルーのリモートターンオンケーブルをソースユニットの「リモートアウト」リード線に接続してください。

注: 12V ACGターンオンがお勧めの方法です。高レベル信号入力(車両のスピーカーケーブル)を使用している場合、DC補正機能を持たせるように選択できます。またはオーディオセンシング機能でアンプの電源を入れることができます。リモートターンオンケーブルを接続せずに接続を終了することができます。

D. 車両に接続する際の電源/プロテクトインジケータ

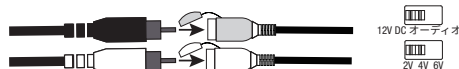


コントロールパネルの電源ボタンがスピーカーの操作モードをお知らせします。

イルミネーションカラー	操作モード
ホワイト	サブウーファーモード (車内用のみ)
グリーン	フルレンジモード
レッド	プロテクトモード (過電圧/低電圧/ショート/アンプのショートによる不良/過熱)
イエロー	設定モード

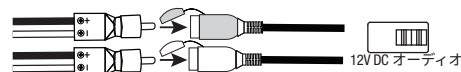
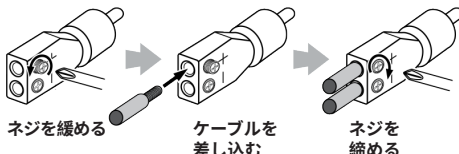
E. 車両内での信号入力

ラインレベル入力: ソースユニットでプリアンプ出力が使用できる場合、ワイヤーハーネスを使用してRCA入力に接続します。サブウーファーモード用のフルレンジ操作、またはサブウーファースのプリアンプ出力(使用可能な場合)向けに前面または背面のプリアンプ出力を使用してください。



注: 低レベル信号、およびリモートターンオンリード線を使用する場合、「自動電源オン」スイッチを「12V」に設定し、設定メニューのスピーカーの入力レベルを「LO」に設定してください(「設定と入力レベル」をお読みください)。ソースユニットのプリアンプ出力の電圧に最も厳密に適合する2V、4V、または6Vに「自動オン」スイッチを設定してください。

高レベル入力: ソースユニットがラインレベル出力を備えていない場合、付属の高レベル入力アダプターを使用して、ワイヤーハーネスのRCA入力にソースユニットのスピーカー出力ケーブルを接続してください。



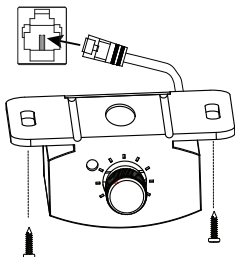
注: 高レベル信号を使用する場合、「自動電源オン」スイッチを「DC」(バッテリー電力を受信した場合に電源が入る)または「AUDIO」(オーディオ信号を検出した場合に電源が入る)に設定してください。設定メニューの入力レベルを「HI1」に設定してください(「設定と入力レベル」をお読みください)。サウンドが再生されない場合は、入力レベルを「HI2」に切り替えてください。

F. 車両内でリモートバスコントロールに接続する

リモートバスコントローラーをワイヤーハーネスの適切な入力端子に差し込んでください。板金ネジを使用して、ダッシュボードの下のような便利な位置にリモコンを取り付けてください。

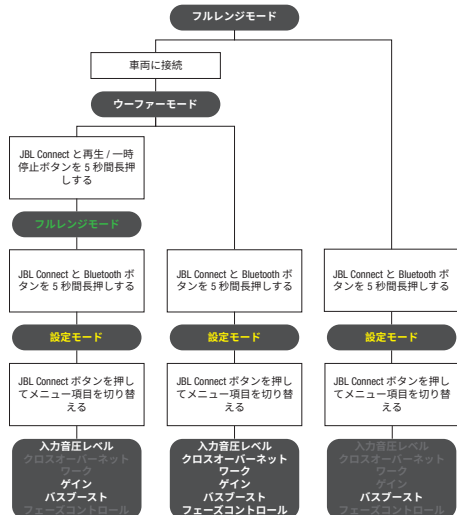
右にダイヤルを回すとバス出力が増加し、左に回すとバス出力が減少します。

注: リモートバスコントロールはサブウーファーモードでのみ動作します



IV. 車両内のサウンドを設定する

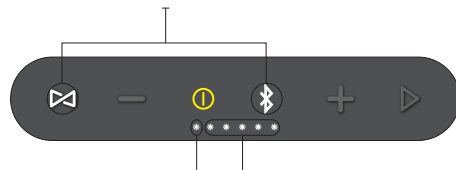
設定モードでは、入力レベル、ゲイン、ローパスクロスオーバーネットワーク、フェーズコントロール、バスプーストを調節することができます。



注: サブウーファーモードからフルレンジモードに入るには、JBL Connectボタンと再生/一時停止ボタンを5秒間長押ししてください。切り替えてサブウーファーモードに戻るには、同じ手順を繰り返してください。

A. 設定モードに入る

設定モードに入るには、JBL ConnectボタンとBluetoothボタンを5秒間長押ししてください。電源ボタンがイエローで点灯し、アラートが鳴ります。設定を切り替えるには、JBL Connectボタンを押してください。「+」と「-」ボタンを押して各設定値を変更してください。



最初のLEDの色は調節している設定を示しています。5個のホワイトLEDは調整値を示しています。

設定	最初のLEDの色
入力レベル (車内でのドッキング時のみ)	ブルー
クロスオーバーネットワーク (ウーファーモードでの車内ドッキング時のみ)	レッド
ゲイン (車内でのドッキング時のみ)	グリーン
バスプースト	オレンジ
フェーズ (ウーファーモードでの車内ドッキング時のみ)	ティール

B. 入力レベルの設定

BassPro Goが車内でドッキングされている場合、ソースユニットから受信する信号タイプを受け入れるように入力レベルを設定する必要があります。「+」と「-」ボタンを押してレベルオプションを選択してください。

ソースユニットからの信号	LEDの状態
LO (低レベルアリアンプ出力)	● ● ● ● ● ● ● ●
HI1 (高レベルスピーカー出力)	● ● ● ● ● ● ● ●
HI2 (HI1から再生しない場合の高レベルスピーカー出力)	● ● ● ● ● ● ● ●

C. サブウーファーモードでローパスクロスオーバーネットワークを設定する

ウーファーモードでは、特定のレベルを下回る周波数のみがスピーカーに到達するようにすることができます。選択するクロスオーバーポイントは音楽の好みによって決まります。

クロスオーバーポイント	LEDの状態
80Hz	● ● ● ● ● ● ● ●
100Hz	● ● ● ● ● ● ● ●
120Hz	● ● ● ● ● ● ● ●

D. ゲインの設定

BassPro Goが車内でドッキングされている場合、ソースユニットから受信する信号出力へのゲイン（入力音圧レベル）を適合させる必要があります。ゲインを設定するには：

- 最初に、ゲインコントロールスイッチを2Vに設定します。
- なるべく低音を多く含む音楽を使い、レシーバーのボリュームコントロールをトータル出力の75%まで回してください。
- LEDの状態が各段階を表示するので、慎重にバス出力を聴き、「+」ボタンを押して1度に1段階ずつゲインを増加させてください。調節しているゲインの音程を上げるには、必要に応じてゲインコントロールスイッチを2V、4V、または6Vに切り替えてください。歪んで聞こえる場合は、歪みがなくなるまで「-」ボタンを押してゲインを1度に1段階ずつ下げてください。

入力信号タイプ	ゲインコントロールスイッチの設定	ゲインレベル	LEDの状態
ラインレベル	2V	0.4V~2V	● ● ● ● ● ● ● ●
ラインレベル	4V	0.8V~4V	● ● ● ● ● ● ● ●
ラインレベル	6V	1.2V~6V	● ● ● ● ● ● ● ●
高レベル	2V	1V~5V	● ● ● ● ● ● ● ●
高レベル	4V	2V~10V	● ● ● ● ● ● ● ●
高レベル	6V	3V~15V	● ● ● ● ● ● ● ●

E. バスブーストの設定

サブウーファーモードとフルレンジモードで、45Hzの出力にブーストを適用させることができます。

ブーストレベル	LEDの状態
0dB	● ● ● ● ● ● ● ●
3dB	● ● ● ● ● ● ● ●
6dB	● ● ● ● ● ● ● ●

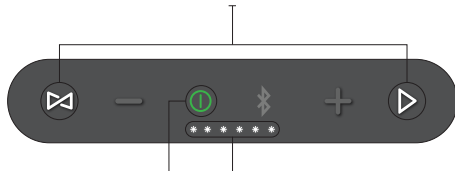
F. ウーファーフェーズの設定

ウーファーフェーズを0°または180°に設定することができ、最も鮮やかなバス出力を実現します。

フェーズ	LEDの状態
0°	● ● ● ● ● ● ● ●
180°	● ● ● ● ● ● ● ●

G. 車内でフルレンジモードのスピーカーを使用する

フルレンジモードに入るには、Connectボタンおよび再生/一時停止ボタンを同時に5秒間長押ししてください。サブウーファーモードに戻るにはこの手順を繰り返してください。



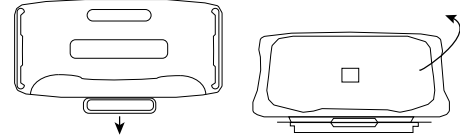
電源ボタンがグリーンになり、5個のホワイトLEDが点滅し、フルレンジモードを示すアラートが鳴ります。

注：前述の通り、フルレンジモードで入力レベル、ゲイン、フェース、バスブーストを調節することができます。（フルレンジモードではクロスオーバーネットワークは調節できません。）

V. ポータブル使用のためにドックからスピーカーを取り外す

A. これらのステップに従ってドックからスピーカーを取り外す

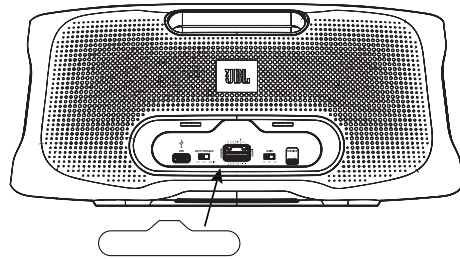
- ドック底部にあるハンドルを前に引っ張ってください。
- プラグ上のタブを注意深く下に押し下げてワイヤーハーネスを取り外し、注意深く引き抜いてください。



- スピーカーをドックから取り外してください。

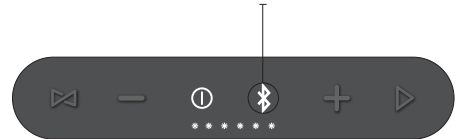
B. 背面パネルカバーを元に戻す

IPX5の防水性能を確実にするため、背面パネルのカバーを元に戻し、正しい位置に取り付けてください。



C. Bluetoothを使ってオーディオデバイスを接続する

ペアリングモードに入るには、トップパネル上のBluetoothボタンを押してください。ボタンが点滅し、ペアリングの準備ができていていることを示します。



お持ちのオーディオデバイス上でJBL BassPro Goを探し、選択してください。ペアリングが完了すると、Bluetoothボタンが点灯したままになります。

注：1度デバイスをペアリングすると、BassPro Goはそれを記憶し、自動的にペアリングされます。

ソーシャルモードを楽しむことができます。Bluetoothボタンを押して最高2台のデバイスとペアリングさせ、次に各Bluetooth対応デバイスのメニューでBassPro Goを探してタップし、ペアリングします。

10分間操作をしないとBassPro Goはスリープモードに入り、20分間操作をしない場合、電源が切れます。スピーカーをオンにするには電源ボタンを押してください。

Bluetoothボタンの色/状態	操作モード
ホワイト、点滅	Bluetoothがペアリングモードである
ホワイト、点灯	Bluetoothに接続済み
オフ	Bluetoothに未接続

VI. 仕様

- 車内の電源出力、サブウーファーモード：100W (200Wピックアップ)
- 車内の電源出力、フルレンジモード：30W x 2 (ツイーター)、80W x 1 (ウーファー)
- 車外の電源出力、フルレンジモード：15W x 2 (ツイーター)、40W x 1 (ウーファー)
- アンプクラス：クラスD
- バッテリー電圧範囲 (ボルト)：9V~16V
- 休止中の電流：1.2A未満
- セレクトアプルトーンオンモード：12V、オーディオ信号検出、DC補正
- LEDインジケーター：マルチカラー
- 周波数特性：40Hz~20kHz@-3dB
- S/N比：70dB以上 (4Ω、1W出力時)
- THD+N @4Ω：1%未満
- 入力音圧レベル、セレクトアプル：高レベルまたは低レベル
- 入力音圧レベル-低レベル：400mV~6V
- 入力音圧レベル-高レベル：1V~15V
- ローパスクロスオーバーネットワーク：セレクトアプル80、100、120Hz、12dBスロープ
- バスブースト：セレクトアプル0dB/3dB/6dB @ 45Hz
- フェーズコントロール：あり、セレクトアプル
- ゲイン：セレクトアプル0~15
- ヒューズ定格：15A
- スピーカーレベル入力：あり (RCAアダプター)
- リモートバスコントロール：付属
- Bluetoothバージョン：4.2
- Bluetoothプロファイル：A2DP 1.3、AVRCP 1.6
- Bluetooth対応トランスミッター周波数帯域：2.402GHz~2.480GHz
- Bluetooth最大トランスミッター出力：0~9dBm
- Bluetooth対応トランスミッター変調：GFSK、8DPSK、π/4DQPSK
- バッテリーの種類：ニッケル水素充電電池 (32.4Wh)
- バッテリー充電時間：約4時間未満
- 再生時間：最高約8時間(音量と曲により異なります)
- USB充電 (Type Aコネクタ)：5V/2.1A
- マイクロUSB：電力供給用のみ
- 全長：402.5mm
- 幅：208.4mm
- 高さ：198.7mm
- 重量：5.28kg (11.64ポンド)
- プロテクト：DC、OVP、UVP、OCP、OTP

VII. トラブルシューティング

オーディオが聞こえず、パワーインジケーターがオフになっている

- BATT+やREM端子に電圧がかかっていない、またはアース接続が不良か、接続していない。VOMでアンプ端子の電圧をチェックします。

オーディオが聞こえず、プロテクトインジケーターがオンになっている

- 入力電圧が9V未満、またはBATT+接続と車両の充電システムが16Vを上回っていることを確かめてください。

オンラインヒューズがつかまらないままである

- 配線の接続が不適切か、ショートしています。取り付け上の注意と手順を再確認してください。配線の接続をチェックしてください。

歪んだオーディオ

- ゲインが適切に設定されていません。設定をチェックして調節してください。スピーカーまたはソースユニットに欠陥がある可能性があります。

オーディオ信号の好ましくないノイズ

- ラインレベル入力ケーブル内で放射される車両ノイズ。電源ケーブルと信号ケーブルが互いに近接していない (車両の反対側を通してください) ことを確認してください。

音楽にダイナミックさ、または「パンチ」が欠けている

- 0°/180°のフェーズ調節を使用してください。

Bluetooth経由でのラウドネス、またはオーディオパフォーマンスが通常とは異なる

- ラウドネスと音量はスマートホンの種類で異なります。製品の音量が十分でないと感じる場合は、スマートホンの設定をチェックし調節することで改善するかを確認してください。または、別のオーディオソース機器での入力や別のBluetoothストリーミングデバイスを試してどこに問題があるか判別してください。

Bluetoothモードでオーディオの再生/一時停止、トラックを進める、前のトラックに戻るが遅い

- この動作はスマートホン、またはBluetoothストリーミングデバイスによって異なります。異なるBluetoothストリーミングデバイスを試してこの状態が改善するかどうかを確認してください。問題が解決しない場合は、電源を切り、入れ直す前に数分間スピーカーを休ませてください。

トラックを進める、または前のトラックに戻している時に、最初の数秒間オーディオトラックが遮断される

- この現象は、外部デバイスからのBluetooth操作でつながっているスマートホンやその性能によって異なります。異なるBluetoothストリーミングデバイスを試してこの状態が改善するかどうかを確認してください。

Торговая марка: JBL
 Назначение товара: Активная акустическая система
 Изготовитель: Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стамфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
 Страна происхождения: Сделано в Китае
 Импортёр: ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к. 1
 Гарантийный период: 1 год
 Срок службы: 3 года
 Информация о сервисных центрах: www.harman.com/ru
 Техническая поддержка: 8 (800) 700 0467
 Организация, уполномоченная на принятие претензий потребителей: ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс»
 Товар сертифицирован
 Дата производства:

Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-МУ0000000, где «М» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «У» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).

Используйте устройство только по прямому назначению в соответствии с предоставленной инструкцией. Не пытайтесь самостоятельно вскрыть корпус товара и осуществлять ремонт. В случае обнаружения недостатков или дефектов, обращайтесь за гарантийным обслуживанием в соответствии с информацией из гарантийного талона. Особые условия хранения, реализации и (или) транспортировки не предусмотрены. Избегайте воздействия экстремальных температур, длительного воздействия влаги, сильных магнитных полей. Устройство предназначено для работы в жилых зонах. Срок годности не ограничен при соблюдении условий хранения. Пожалуйста, не утилизируйте устройства с литий-ионными аккумуляторами вместе с бытовыми отходами.

Max Operation Temperature: 45°C



Bluetooth® The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



Este produto está homologado pela Anatel, de acordo com os procedimentos regulamentados para avaliação da conformidade de produtos para telecomunicações e atende aos requisitos técnicos aplicados.
 Para maiores informações, consulte o site da Anatel – www. anatel.gov.br
 Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

哈曼产品保修卡



机身编号:

产品型号: _____

销售 (安装调试) 日期: 20__年__月__日 发票号码: _____ (销售者印章)

用户姓名: _____ 联系电话: _____

地址 (邮编): _____

重要提示: 根据国家“三包”规定, 您必须完整填写本凭证并与购买发票原件同时出示方可享受相关售后服务。为了保护您的权益, 请您购买产品时索取合法有效的发票并请将经销商在本凭证盖章包括名称、地址、电话等信息的印章。本凭证内容与商品实物标识不符或者涂改的将不提供售后服务, 请务必妥善保管。请您核对产品机身编号, 编号缺失、涂改或经查询非本公司授权经销商渠道销售产品均不提供售后服务。更多信息请您阅读下面的产品保修条例。

哈曼 (中国) 投资有限公司
 公司地址: 上海市黄浦区南京西路 288 号 3004 室
 中国大陆地区客服热线: 400 630 6678



扫描二维码获取全国联保

产品保修期:

JBL INFINITY 汽车音响产品提供一年的保修期, 自消费者在本公司授权经销商、授权安装点购买之日 (即, 购买发票所述的日期) 起算。

保修范围:

产品在上述保修期内出现故障, 且经本公司授权经销商、授权安装点或授权维修站工程师检测确认属于正常使用情况下, 由于制造过程或零件损坏 / 失灵所导致的故障, 本公司将为您提供免费修理及零件更换。

下列情形不属于保修范围

包括但不限于未按产品使用说明书要求使用 (包括但不限于非汽车 12V 直流水源环境使用)、维护、保管而造成损坏的; 经本公司授权维修者以外人员拆动、改装造成损坏的; 因不可抗力 (如自然灾害、火灾、雷击、水) 造成损坏的; 非本公司产生的运输损害、过压、液体渗入、外观损坏、磨损老化等人为原因造成损坏的; 已超过保修期; 无保修卡及有效的购买发票、或购买发票与保修卡不符, 或购买发票被涂改或无法辨认均不提供保修服务, 但本公司及本公司授权维修站可按相关规定实行收费维修。

保修服务仅在中华人民共和国大陆地区有效。

由于汽车音响产品的安装属性, 产品发生故障后, 消费者必须先联系本产品最初的授权安装点检查并排除非产品质量原因导致的故障。无论是何产品质量原因还是非质量原因导致的所有故障, 均应由授权安装点负责: 拆卸故障产品、送交授权维修站、装回产品的工作。

本公司不负责任何由于汽车音响产品损坏或故障而直接或间接导致的其他损失。

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
箱体	外壳, 面板, 背板等	x	o	o	o	o	o
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件, 内部相关连接线	x	o	o	o	o	o
零部件	电容, 连接器等	x	o	o	o	o	o
附件	电源线, 说明书, 包装等	x	o	o	o	o	o

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制

o: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

x: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EUPF)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
<https://www.jbl.com/>

© 2020 HARMAN International Industries, Incorporated. All rights reserved.
JBL is a trademark of HARMAN International Industries, Incorporated,
registered in the United States and/or other countries.
Features, specifications and appearance are subject to change without notice.